

平成16年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	県央地域農業改良普及センター
57		
※記入不要		
要望問題 ヤマユリの増殖及び栽培技術の確立について		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】		
管内清川村にて地域活性化のため「花の里づくり」が進められている。その中で山間地または野原でのヤマユリの植栽が課題として取り上げられている。以前に県事業にてウイルスフリーで培養したヤマユリの増殖植栽事業が実施されたが、定着し難かった経緯がある。原因としては、鳥獣害、採掘、地にあわず消滅といったことがあげられるようである。そこで、増殖し野外に植栽したヤマユリが確実に根付かせる方法、あるいは、栽培変化に強い系統の選抜増殖、または、現在自生しているヤマユリを増やし、定着させる方法を検討していただきたい。フラワーセンターで長年培養を手がけていることを踏まえ、フラワーセンターとの連携の上での研究が望ましい。		
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内	
研究対応区分	①研究所対応 ②委託研究 ③共同研究 <input checked="" type="checkbox"/> ④その他	
対応を希望する研究機関名	①農業総合研究所（②根府川試験場 ③三浦試験場 ④津久井試験場） ⑤畜産研究所 ⑥水産総合研究所（⑦内水面試験場 ⑧相模湾試験場） ⑨自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	生産技術部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等	関連する試験は、園芸試験場にて実施済みであり、平成2～4年試験概要集を参考にしてください。清川村でのヤマユリの植栽事業については、実際に問題が生じた場合、普及センター、フラワーセンターと連携して、現地調査を行い、改善策を検討します。
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
備考	